

## 平成24年度第2回福岡県がん診療連携協議会議事録

日 時	平成25年2月18日（月） 14時00分～16時00分
場 所	福岡大学病院 新館多目的室（地下1階）
出席者  51名	別紙出席者名簿のとおり
九州がんセンター（院長）	<p><b>1) 開会の挨拶</b> ただ今より平成24年度第2回福岡県がん診療連携協議会を開催いたします。今回は会場を福岡大学病院にお願いしました。ありがとうございました。それでは、議事次第にそって進めていきたいと思ひます。</p>
福岡大学病院（田村）	<p><b>2) 開催施設代表 挨拶</b> 本日は福岡大学病院にお集まりいただきありがとうございます。 昨年の6月にがん対策推進5カ年計画の見直しが行なわれましたが、拠点病院の質が問題視されているところす。今後は質の向上に向けた取り組みを行い、結果を出さないといけない状況です。各専門部会で活発に活動されていますが、活動の状況を反映させていけるように我々が頑張っていかななくてはならないし、結果を出していく上で本日の会議で議論を深めていければと期待しております。</p>
九州大学病院（高山）	<p><b>3) 各専門部会の現状報告</b></p> <p><b>①研修・教育専門部会</b> 研修・教育専門部会の報告をさせていただきます。 (別紙資料にて説明)</p> <p>1. 福岡県がん診療連携協議会 研修・教育専門部会委員名簿について 九州がんセンターの杉尾医師から大野医師へ交替された。</p> <p>2. 平成24年度九州大学病院研修会等開催予定 九州大学病院で教育・研修部会に関連した研修会の開催実施済み又は開催予定の内訳は以下の通りである。 ◆九州大学病院がんセミナー（年5回） ◆福岡県コメディカルがん医療研修会（年3回） ◆福岡県院内がん登録研修会（年4回） ◆がん患者支援ネットワーク事業 情報交換会「平成25年3月6日（水）」 ◆第5回 九州大学病院 医師に対する緩和ケア研修会（年1回） ◆薬事連携セミナー（年6回） ◆市民公開講座「平成24年10月21日（日）」 ◆膝がん勉強会（月1回） ◆九州大学病院がんセンタークローバー会（年7回） ◆福岡糸島医療圏におけるがん患者在宅医療支援に向けての取り組み「平成25年2月26日（火）」平成24年度MSW研修会を兼ねて開催</p> <p>3. 今後の緩和ケア研修会について 24年度の研修会から、研修の開催日については、A日程、B日程に分れており、AB両方の日程を受講して頂くこととして、2日目は1日目と別の医療機関で受講出来るようになり、受講資格として認定されます。</p> <p>4. 緩和ケア病棟の待機患者数等の情報提供について 福岡県内の緩和ケア病棟における待機患者数等の最新情報について、現在当院で情報を収集し毎週アップデートを行い、拠点病院に配布している。この情報収集に</p>

かなりの労力を割いていることから、どれ位各施設で有効活用されているのかを確認したい。各施設において毎週の情報提供が必要ということであれば、引続き毎週の情報提供を行っていくが、もし、そこまでの頻度でなくても構わないと言うことであれば、隔週に1度の配信に切り替えても構わないかを皆さんに確認させて頂きたい。

#### 5. 第Ⅲ期緩和ケア研修会開催に向けた手続きスケジュール（案）

今後、緩和ケア研修会の開催に向けた事務手続きを行っていく上で、アンケートなどを行い、各施設のコンセンサスを得ながら進めて行きたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

以上報告となります。何かご質問はありますか。

緩和ケア病棟の待機患者数等の情報提供についてご意見をお聞かせいただければと思いますがいかがでしょうか。

九州がんセンター（竹山）

緩和ケア病棟における待機患者の資料を作成頂き御礼申し上げます。毎週の作成にかかる苦労も相当なものかと思えます。実際に患者さんが転院される前には、必ず転院先に連絡し空床状況を確認しておりますので、隔週でも問題はないと思えます。

九州大学病院（高山）

ご意見ありがとうございます。

九州がんセンター（院長）

確かに毎週の確認は大変だと思います。九州がんセンターは2週間毎で問題はないという意見でしたが、その他の施設は担当者が参加していないので、改めて担当者にWEB上で確認して頂いたほうがよいと思えます。

#### ②地域連携・情報専門部会

地域連携・情報専門部会の報告をさせていただきます。

（別紙資料にて説明）

##### 1. 地域連携クリティカルパスの進捗状況について

###### ○パス適応患者数

- ・平成23年1月から胃がん・大腸がんのパスについて先行スタートしました。その後他のがんについても昨年1月にスタートしたことにより、5大がんすべてのパスが動き出しました。
- ・昨年10月調査の時点で、342人の患者さんに対してパスが用いられ、前回調査の24年4月時点と比較しプラス116人となりました。
- ・後からスタートしたパスについても順調に件数が伸びております。ただ、肝がんと肺がんについては、疾患の特異性があるのか、パスの中身自体に問題があるのか、あまり件数が増加しておりませんので、今後、このまま件数が増加しない場合は検討を行っていく必要もあると考えております。
- ・九州医師会の地域医療対策協議会の中でも地域連携について話合われており、県医師会から頂いた資料を紹介させていただきますと、期間等もばらつきがあり、5大がんのパス件数についても詳細な内訳は省略させていただきますが、長崎県：92人、沖縄県：113人、大分県：33人、熊本県：1191人、福岡県：342人、鹿児島県：37人、佐賀県：326人、宮崎県：40人となっており各県で相当な開きがある状況となっております。
- ・今後もパスの件数増加に向けて取り組んでいきたいと思えます。

###### ○前立腺がんパス作成の開始

- ・この度、前立腺がんパスの作成を開始しました。開業医の先生方にP S Aの検査値を計測していただき連携を行うパスであり、泌尿器科に限らずその他の診療科の先生方とも連携を行うことも可能であると考えます。
- ・九州がんセンターの泌尿器科部長の中村がパスのリーダーを担当しており、このパスをすでに利用されておられる、九州医療センターの井口副院長先生にご指導をいただきながら準備を進めております。
- ・拠点病院の前立腺がんパスの担当でワーキンググループを立ち上げ、パスを策定していきます。

九州がんセンター（藤）

- ・グループの中から4人（各ブロックから1人）とパスリーダー、県医師会より選出された かかりつけ医の代表者4名によりパス調整会議を開催し、パスの最終案を策定します。
- ・パスの最終案について、県医師会のがん診療連携運営委員会に調整を行い、福岡県がん対策推進協議会に諮り了承を得た後、福岡県がん診療連携協議会より各郡市医師会に通知を行うこととなります。
- ・すでに5大がんで運用された実績がありますので、パスが作成されれば調整に関して問題はないと思われます。進捗状況については、また説明をさせていただきます。

## 2. 第1回福岡県がん地域連携の会開催報告

○第1回福岡県がん地域連携の会開催報告（平成25年1月24日19:00～ 於：福岡県医師会館）

- ・九州厚生局にパス連携登録をしている868施設と拠点病院の先生方にご案内し、かかりつけ医48施設を含めて、合計109名の参加がありました。
- ・かかりつけ医の先生方で、パスを使用した経験があったのは4施設で、パスの連携に関した話ではなく、当日は抽象的な話となりました。
- ・パスを使用した経験があるかかりつけ医の先生方へのアンケート調査の結果を踏まえてディスカッションを行いました。  
※2012年4月末でパス使用経験がある「かかりつけ医」の先生153人へアンケート調査（2012年9月に施行）、配布153名 回答者74名（回答率48%）
- ・アンケート調査の項目  
クリティカルパスの有用性、クリティカルパスの運用、クリティカルパスの労力、拠点病院の対応に問題はあったか、診療に変化はあったか
- ・細かな点は省略させていただくが、主なアンケート結果について紹介すると、パスの有用性について、否定的な意見は少なく有用であるとの意見が多かった。
- ・ただ、「拠点病院の対応に問題があったか」との問いに対して、71%が問題ありとの回答で、我々拠点病院側の問題を指摘する意見となっています。
- ・今後も、今回のような会議を開催し、パスを使用した先生方との意見交換や、患者側の意見についてもお聞きすることができればとも考えています。
- ・地域連携の会については、各がん別のワーキンググループ単位での開催も認めております。意見交換や勉強会について実施していただいても構いませんので、問題意識を持たれて、参加もしくは開催の呼び掛けを行っていただければと思います。

## 3. 相談支援ワーキンググループの立ち上げについて

○相談支援ワーキンググループの立ち上げについて（WEB会議の報告）

- ・先日、相談支援のワーキンググループを立ち上げることに付いて、地域連携情報専門部会として、WEB上での書面会議を開催し承認を得たところです。
- ・すでに福岡県が開催しておられる、相談支援担当者の会議（年1回開催）がありました。
- ・今後、相談員を自前で育てていくこととなっており、教育や研修をどのように行い、どうやって育てていくかということが、一番の問題となっております。
- ・このような問題など焦点を絞って担当者同士が集まって話合うことや、遠方の施設もいるため、コアメンバーを作り時々集まって調整を行っていければと考えています。

## 4. 福岡県「がん患者の歯科医療連携推進事業」について

○がん患者のための歯科医療連携推進事業について

- ・福岡県から応募があり福岡県歯科医師会が歯科医療連携推進事業について委託されました。その一環で、福岡市歯科医師会と九州がんセンターとの間でモデル事業として連携を作成するシステムの構築に向けて準備中です。
- ・連携を進めるにあたり、福岡市歯科医師会に登録医として希望された歯科の開業医の先生方は、がん医療の口腔ケアに関する研修を受けていただく必要があります。現在、多くの先生方が研修を受けていただいております。
- ・今後は県歯科医師会が中心となり各地で取組みが行われて行くと思われますの

	<p>で、拠点病院の先生方におかれましては、このような事業があり、現在進行中であることの情報を共有いただければと思います。</p>
	<p>以上報告となります、ご質問等がありますか。</p>
<p>福岡大学病院 (田村)</p>	<p>連携パスについてですが、地域性も重要だと思いますので、I期を中心とした外科系のフォローアップパスだけではなく、腫瘍内科を中心とした抗癌剤を用いた連携パスや、GCS-F製剤のパスなど施設のニーズにあったパスの検討を進められるようなステップや体制作りを考えていただければと思います。</p>
<p>九州がんセンター (藤)</p>	<p>先生が考えておられる様に、施設のニーズに応じてパスを作成していくという考え方は非常に重要であると思います。県の統一したパスを作成するとした場合、じっくり検討していたら、なかなか先に進まないこともあります。例えば福大に化療のパスがあれば、それをたたき台にして統一したパスを作っていくということは可能です。</p>
<p>福岡大学病院 (田村)</p>	<p>今回の前立腺がんのパスは、九州医療センターの方で既にモデルがあり、PSAというわかりやすいターゲットがあり速やかに調整を行うことが出来ていますが、新たなパスが医療機関において、地域のニーズに合う・合わないがあったりした場合も含めたパス作りが必要ではないかと思えます。</p>
<p>九州がんセンター (藤)</p>	<p>今後当院の腫瘍内科とも相談して調整できればと思います。各病院で既に運用されているパスがありましたらご紹介いただければ、そのパスをたたき台として調整を行うことで、円滑に進めることが出来ます。パスを使うか使わないかの判断は医療機関に任せていきたいと思えます。</p>
<p>九州がんセンター (院長)</p>	<p>ただ、同じテーマのパスが乱立する事は避けたいので、その点をご了承いただければと思います。</p>
<p>九州がんセンター (院長)</p>	<p>患者の立場から言えば、連携パスに期待を寄せている状況があるが、単独の病院だけで進められない状況もあり難しい面があります。医療に直面した部分であり少しずつ確実に進めていくことが重要です。</p>
<p>福岡県歯科医師会 (今里)</p>	<p>福岡県の現状については、先程説明があったとおりで、歯科医療連携推進事業については、日本医師会と国立がんセンターとの連携ということで進められており、全国的な展開が行われている。先日開催された九州地区連合歯科医師会の担当者会議においても福岡県歯科医師会の方から現状報告説明を行いました。熊本県においては、熊本医療センター、熊本赤十字病院、済生会熊本病院との連携が進められています。鹿児島県においては、鹿児島医療センターと鹿児島県歯科医師会が協定を結び連携が進められている。沖縄県は琉球大学、長崎県は長崎大学、大分県は大分医科大学との連携が行われており、現在始まりつつある状況です。</p>
<p>福岡県歯科医師会 (今里)</p>	<p>全国的な展開に関しては、DVDを用いた周術期から化学療法、最終的には緩和ケアに関する講習の受講が必要であり、現在I・IIまで進めており、福岡県下で656名の歯科医師が受講を完了しており、今年3月にIIIのDVDが作成され次第、伝達し準備を進めていきたいと思えます。</p>
<p>浜の町病院 (三ツ木)</p>	<p>地域連携に関しては、どうしてもパスという話になってくるが、緩和ケアに関してはどうしてもパスとして運用しづらいようないろいろな情報交換が必要になってくる。現在、県医師会の方では開業医や勤務医の先生方とのFacebookなどを利用したネットワーク作りについて検討されていると思うので、今後、がん拠点病院間の情報についても、県医師会の情報ネットワークに乗せていただき、緩和ケアや化学療法、などの検討がされていければと思います。</p>
<p>福岡大学病院 (田村)</p>	<p>Facebookなどを利用した情報のネットワーク作りに関しては、窓口はどこになるのでしょうか。また、そのようなことをする際の人材については、難しい問題でしょうか。どのようにお考えでしょうか。</p>
<p>九州がんセンター (院長)</p>	<p>ネットワークの構築については県の医師会主導で行われているのでしょうか。</p>
<p>福岡県医師会 (戸次)</p>	<p>詳細については不明な点もありますが、現在いろいろな面でのネットワークづくりを行っております。非常に問題なのは、悪用する者が出てきた場合の対応をどうする</p>

	<p>かという点があります。問題を先に解決しなければ進めないということもありますので、徐々に進めており、将来的には緩和ケアなどの問題についても組み込んでいこうということで計画しています。</p>																																										
<p>福岡大学病院 (田村)</p>	<p>現在、福岡県内においてパスの件数が数百程度である。今後、さらに件数が増加して、年間千を超えた件数となった場合、バリエーションや評価も含めて検証していくとすれば、相応な労力が必要となり予算的にも厳しい状況ではないかと考えるが、どのように考えておられますか。</p>																																										
<p>九州がんセンター (藤)</p>	<p>件数が増加した場合、現状のように兼務で行っていくことは難しいので、拠点病院に専属者を配置するか、県の医師会の中に地域連携コーディネーターなどを配属するなど、相応の予算的な事も考えていかななくてはならないと考えます。</p>																																										
<p>福岡大学病院 (田村)</p>	<p>医科歯科連携について、主治医は何か特別なことを行うのではなく、患者さんが歯科を受診し、口腔ケアを行っていただくことが重要となってきます。歯科医師会の先生方は登録医となるために、研修を受講されていますが、連携に関して拠点病院の医師側と歯科医師側とのネットワーク作りについては、何か考えておられますか。</p>																																										
<p>九州がんセンター (藤)</p>	<p>歯科を有しない拠点病院側の医師が、歯科の先生方に診療情報提供書を作成する際、何をどのようにお願いすればよいのかということ、歯科の先生方はどのように関わればよいのかという質問をされたことがあるので、歯科医師側は研修等を実施されている中で、拠点病院の医師も今後は医科歯科連携の意義を考えて周知していく必要があると思います。</p>																																										
<p>九州がんセンター (西山)</p>	<p><b>③がん登録専門部会</b> がん登録専門部会の報告をさせていただきます。 (別紙資料にて説明)</p>																																										
	<p>1. 「報告事項」福岡県がん登録部会開催報告について ○第2回(福岡県)がん登録専門部会(平成25年1月28日 於:済生会福岡病院)議事録について 1) 第2回がん登録専門部会WG開催報告について ①院内がん登録データの住所情報の提供依頼について 現在、各施設で保管しているデータは住所情報も含まれているが、提出しているデータには住所情報が含まれておらず、今後様々な統計や研究事業を行うにあたり住所情報の追記を行い提供依頼していただくことについて各施設に意見を伺った。しかしながら、今後、住所情報の追記内容、提供範囲、提供方法、利用方法、データの管理方法についての意見があり、再度ワーキンググループ及び部会に諮り議論し理解を求めた上で、各施設長に住所情報の提供についての承諾に関する確認を行うこととなりましたので、各施設の代表者の皆さまにおかれましてはご理解とご協力をお願いいたします。 ②予後調査依頼書の改訂について 市町村に対して住民票照会する際に、各施設の担当者からの意見として、除去後5年以上経過し住民票の発行が出来ない場合には、住民票照会リスト「その他備考」欄に除去理由及び除票理由及び除票日の記載を行うことで、住民票照会の協力を求めやすくすることとした。</p> <p>2) がん登録データの還元及び今後のスケジュール等について</p> <table border="0"> <tr> <td>・ 2007年登録データ</td> <td>国がん提出</td> <td>2008年12月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>福岡県内データ還元月(県受領)</td> <td>2010年 2月</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">2007年予後情報については、2012年3月頃(予定)に国がん提出予定</td> </tr> <tr> <td>・ 2008年登録データ</td> <td>国がん提出</td> <td>2009年12月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>福岡県内データ還元月(県受領)</td> <td>2011年12月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>施設別データの公表(国がんより)</td> <td>2011年 7月</td> </tr> <tr> <td>・ 2009年登録データ</td> <td>国がん提出</td> <td>2010年12月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>福岡県内のデータ還元月(県受領)</td> <td>2012年 6月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>施設別データの公表(国がんより)</td> <td>2012年 3月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>福岡県地域がん登録データ抽出</td> <td>2011年 9月</td> </tr> <tr> <td>・ 2010年登録データ</td> <td>国がん提出</td> <td>2011年12月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>福岡県内のデータ還元月(県受領)</td> <td>未定</td> </tr> <tr> <td></td> <td>施設別データの公表(国がんより)</td> <td>2012年11月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>福岡県地域がん登録提出月</td> <td>2012年 7月</td> </tr> </table>	・ 2007年登録データ	国がん提出	2008年12月		福岡県内データ還元月(県受領)	2010年 2月		2007年予後情報については、2012年3月頃(予定)に国がん提出予定		・ 2008年登録データ	国がん提出	2009年12月		福岡県内データ還元月(県受領)	2011年12月		施設別データの公表(国がんより)	2011年 7月	・ 2009年登録データ	国がん提出	2010年12月		福岡県内のデータ還元月(県受領)	2012年 6月		施設別データの公表(国がんより)	2012年 3月		福岡県地域がん登録データ抽出	2011年 9月	・ 2010年登録データ	国がん提出	2011年12月		福岡県内のデータ還元月(県受領)	未定		施設別データの公表(国がんより)	2012年11月		福岡県地域がん登録提出月	2012年 7月
・ 2007年登録データ	国がん提出	2008年12月																																									
	福岡県内データ還元月(県受領)	2010年 2月																																									
	2007年予後情報については、2012年3月頃(予定)に国がん提出予定																																										
・ 2008年登録データ	国がん提出	2009年12月																																									
	福岡県内データ還元月(県受領)	2011年12月																																									
	施設別データの公表(国がんより)	2011年 7月																																									
・ 2009年登録データ	国がん提出	2010年12月																																									
	福岡県内のデータ還元月(県受領)	2012年 6月																																									
	施設別データの公表(国がんより)	2012年 3月																																									
	福岡県地域がん登録データ抽出	2011年 9月																																									
・ 2010年登録データ	国がん提出	2011年12月																																									
	福岡県内のデータ還元月(県受領)	未定																																									
	施設別データの公表(国がんより)	2012年11月																																									
	福岡県地域がん登録提出月	2012年 7月																																									

・2011年登録データ 国がん提出 2012年12月  
 ☆国指定拠点病院以外からのがんデータについても、  
 受付を開始予定  
 (実施時期は、拠点病院報告終了後？平成25年1～3月？)  
 → H25.1時点では国がんの動きはなし  
 福岡県内データ還元月(県受領) 未  
 福岡県地域がん登録提出月 2013年中旬頃

以上のような流れで院内がん登録の業務を行っております。目立った進捗状況ではありませんが、確実に少しずつ進んでいることが分かって頂けると思います。

### 3) 2007年予後調査支援事業報告について

予後調査支援事業とは、各施設で実施している予後調査を国立がん研究センターが代わりに行うという事業です。今回は2007年の予後調査分が対象で、福岡県から4病院が国がんに予後調査をお願いし提出していましたが、その結果が返ってきました。福岡県内の72市町村のうち7市町村が対応不可、65市町村が対応(有料:18、無料:47)していただきました。こちらのデータは各施設からの協力依頼ではなく、国立がん研究センターから福岡県内の各市町村への協力依頼に対する回答であって、協力率は90.3%、九州の平均は86.8%となっております。拠点病院の担当者から福岡県内の各市町村に予後調査の協力依頼に対する回答率は94.3%となっております。このような結果となりましたので、国がんへ予後調査をお願いする方法もありますが、とりあえず、各施設から市町村へ予後調査を継続して行っていくという結論になりました。

以上が報告事項となります。何かご質問はありますか。

がん登録データの活用に当たっては、九州大学や九州がんセンターなどの中だけでデータ活用する分であれば構わないが、その他の目的で利用する場合、地域単位の情報で分析し公表する場合、特殊ながんであれば、個人を容易に特定できる可能性もあることから、地域情報は県単位程度までしか公表できないのではないかと。がん登録のデータを公表し、今後活かしていくことは重要であることは認識しているが、研究の利用目的を明確にし、利用許可や情報のセキュリティーを厳しくする必要があると考えます。

今のところ、がん登録のデータの活用については、規定を作成し、福岡県においては、がん診療連携協議会の職員並びに福岡県の職員に限ることとしています。特殊ながんについては、確かに個人を容易に特定できることから、個人を特定出来ないような配慮を行うこととしており、申請を行って頂きワーキンググループの中で審議しがん登録部会で承認するようにしています。

### ④連絡事項(福岡県)

福岡県の連絡事項を報告させていただきます。

1. 福岡県がん対策推進基本計画について  
 国の方でがん対策推進基本計画が公表されましたが、福岡県においても、「福岡県がん対策推進計画」を公表し、現在パブリックコメントにて県民の意見を聴取しております。
2. 緩和ケア研修会について  
 がん診療に携わる医師について単位型の研修会を現在実施しておりますが、医師以外の医療従事者の研修会の参加についても、平成24年11月から可能としております。
3. 院内がん登録について  
 福岡県指定病院の3病院についても、拠点病院の全国集計が25年の3月に実施されますが、同様の形で福岡県からの推薦を行い全国集計に参加することとしております。
4. 小児がんの拠点病院について  
 2月8日付で全国の15病院が指定を受け、大きくブロック単位で分れており、九州ブロックでは九州大学病院が指定されました。小児がん拠点病院の役割が大きく示されておりますが、今後におきましては、国から、今回指定された病院と拠点病院間の連携等に関する具体案を盛り込んだ方向性が半年以内を目途に示される予定です。その内容を受けて福岡県においても対策を行っていきたいと考えております。

九州医療センター(阿南)

九州がんセンター(西山)

福岡県(白石)

九州がんセンター（院長）	<p>5. がん拠点病院について 福岡県におけるがん拠点病院の再指定の期限が再来年となっております。国の指定要件に関する概要を確認しながら、福岡県においても再指定に向けた取組を行っていきたく思います。このような状況につきましては、18の拠点病院をはじめ、県の医師会を通じて関係する医療機関に周知を図りたいと思います。</p> <p>国の方で、次の指定が決定するのはいつ頃でしょうか</p>
福岡県（白石）	<p>今年秋までには確定すると思います。</p>
九州がんセンター（院長）	<p>26年4月からの拠点病院の指定に関して何か情報がありましたら、事務局からご案内したいと考えております。小児がんの拠点病院について何か情報がありますか。</p>
九州大学病院（小西）	<p>小児がん拠点病院については、37施設が希望され、22施設が候補となり、昨年末にヒアリングが行なわれ最終的に15施設が選ばれております。九州では当院が指定された状況です。詳細なことはまだ理解出来ていない部分がありますが、今後、小児科間での連携等が必要になってくると思いますので、その際はご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>
福岡大学病院（田村）	<p>現在、県の方でパブリックコメントの募集が行なわれているので、拠点病院でも小児科が標榜されているところもあるが、遠方の患者を診療し連携していくのかなど、問題もあり、協議会としても傍観しておく訳にもいかず、何か意見をいうべきではないか。</p>
福岡県（白石）	<p>今後、今年秋以降に国の方から具体案が示されるので、そのような情報がみえてきたら、九州ブロックや協議会における取組や連携をどのように行えばよいか分かってくるのではないかと考えます。</p>
	<p><b>4) その他連絡事項</b></p>
九州がんセンター（藤）	<p>①福岡県臨床衛生検査技師会が参加することについて これまで、福岡県臨床衛生検査技師会に対して福岡県がん診療連携協議会への参加依頼を行っていなかったことから、参加していただいてもよろしいでしょうか。</p>
参加者全員	<p>意義なし</p>
九州がんセンター（藤）	<p>特に意見はございませんでしたので、次回の協議会から参加をお願いすることといたします。</p>
九州がんセンター（藤）	<p>②平成25年度第1回福岡県がん診療連携協議会開催予定について 次回第1回目の開催日及び開催場所は 平成25年9月9日（月）九州がんセンター です。</p>
九州がんセンター（院長）	<p><b>5) 閉会の挨拶</b> これをもちまして平成24年度第2回福岡県がん診療連携協議会を閉会いたします。</p>
	<p>以上</p>